

心理コース

募集人員
50名

「ハート」のある現場志向の「心理援助専門職」の養成。

心理コースでは、心理学の専門的な知識と技能を持ち、子どもや保護者、学校・地域を支援できる心理援助職の国家資格である公認心理師の養成を目指します。講義や実習においては、子どもへの専門的支援や家庭との連携のあり方の検討、そして学校領域における連携の実践に力を入れています。スクールカウンセラーや他領域を含む対人援助職として、医療領域の知識を基礎として子どもたちの成長発達を促進し、学校・家庭・地域社会に貢献できる人材を育成したいと考えています。

4年間の学び

心理コースでは、公認心理師養成のカリキュラム案を基本軸に実践的な授業を展開しています。2年生から「心理学実験」「臨床心理学概論」などの基礎理論を学びます。3年生では「心理学統計法」などの研究法を学び、卒業論文に備えます。また、「司法・犯罪心理学」「社会・集団・家族心理学」、医学、精神医学の各論を学びます。「教育・学校心理学Ⅰ・Ⅱ」「学校と家族」などの教育支援に関する授業や、「心理的アセスメント」を受講します。公認心理師になるためには「心理演習」「心理実習」などの実習・演習系の受講が必要となります。多くの学生は、大学院に進学し公認心理師受験資格や臨床心理士受験資格を得て、心理専門職を目指します。

特色ある授業・ゼミ紹介

「心理演習」総45時間の授業でロールプレイングや事例検討に取り組み、要心理支援者等に関する知識と技能の修得、理解とニーズの把握、支援計画の作成、多職種・地域連携、職業倫理等を体験的に学びます。例えば就学前期の母子保健、学齢期の発達支援、ひきこもり支援等をテーマとしています。

「心理実習」心理実習Ⅰでは保健医療等、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の5分野における心理支援の在り方、および心理職や各施設の役割について事前学習を行います。医療領域の実習先を主として、例年、8月から10月にかけて各人5～9か所で実習を行っています。心理実習Ⅱでは実習施設での学びを踏まえ、心理職の役割、多職種連携や地域連携についての理解を深めています。

主な授業科目

■心理学概論 ■臨床心理学概論 ■人体の構造と機能及び疾病 ■司法・犯罪心理学 ■心理演習 ■キャリアデザイン ■認知行動療法論 ■健康・医療心理学
■心理学実験 ■心理的アセスメント ■心理学統計法 ■社会・集団・家族心理学 ■心理実習 ■産業・組織心理学 ■教育・学校心理学

目指せる資格

◎公認心理師(国家資格)

- ①大学学部にて指定の科目を履修して卒業後に、公認心理師養成連盟指定の大学院進学(本学含む)
 - ②大学学部にて必要単位を修め、卒業後に厚生労働省が認定する特定の施設において2年以上の実務経験を積む(受験資格)
- *公認心理師養成大学院進学後は修了までに国家試験受験・資格取得

◎臨床心理士(民間資格)

大学院での開講
(修了後に受験資格)

先輩Voice

教育支援専門職養成課程 心理コース4年
愛知県立横須賀高等学校出身



心理学を幅広く学べる環境。
人との向きあい方や支援に関わる学びを、
社会で生かしたい。

2022年 2年次後期の時間割 (例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限			学校体験活動Ⅰ		
2時限	心理学的支援法	学習・言語心理学	学校体験活動Ⅰ	健康・医療心理学	心理的アセスメントⅠ
3時限	精神疾患とその治療		この時間を使って「学校体験活動Ⅰ」の事後指導やガイダンスを行うことがあります。	少年法	スポーツⅡ
4時限	キャリアデザインⅡ	心理教育アセスメント		心理学実験Ⅱ	
5時限	キャリアデザインⅡ	朝鮮語Ⅱ		心理学実験Ⅱ	

*上記時間割で示した授業科目以外に2年前期の必須科目として遠隔方式(オンデマンド型)で実施される「発達障害のある児童生徒理解基礎」や「外国人児童生徒支援教育」があります。

教育領域や、それ以外の心理学についても幅広く専門的に学べるのが魅力です。心理学の専門家として子どもの支援に携わっている先生や、医療、福祉、犯罪・司法などさまざまな分野での臨床経験をもち先生が多く、現場での難しさややりがいなど「生の声」をうかがう機会にも恵まれました。そうした中で芽生えたのは、心理職など支援者の方々の課題に寄り添い、支えたいという思い。人の幸福度の向上について興味があり、ここで学んだ人との向きあい方や、支援に関する知識を、社会で生かしていきたいです。